

危機管理監目標（令和7年度組織目標）

● 危機管理監 青木 一圭（あおき かずよし）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう



● 危機管理室の仕事

危機管理室は、「危機管理・防災グループ」と「消防・庶務グループ」で構成され、所沢市の災害対策、危機事象への対応や国民保護、消防団に関する事務などが主な仕事です。

● 危機管理室の目標

危機管理室は、火災や地震、風水害、ミサイル攻撃や大規模テロなどから市民の生命・身体・財産を守るため、地域防災体制の強化、災害時初動体制の構築、災害時応急対策の充実、非常時の体制の強化を基本方針として、施策の充実強化を図り、自助・共助・公助による防災・減災のための取組を推進します。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	消防団の装備充実事業	消防団員の安全確保のため、防火衣の更新や救助活動用資機材等の各装備を整備し、消防団に係る装備の一層の充実強化を図ります。	地域防災活動の要である消防団に係る装備の充実強化を図るとともに、消防団活動への理解促進と団員の確保を図り、活動支援に努めることで、地域防災力の強化を進めます。	防火衣などの装備品を各消防団分団への配備を終了しました。「こども・若者情報チャンネル」の活用や「所沢市民フェスティバル」、「所沢シティアマゾン」への出展・参加などにより、消防団活動の周知や団員確保に向けた取組みを進めました。
2	デジタル同報系防災行政無線システム更新事業	「デジタル同報系防災行政無線システム」が耐用年数を経過するため更新するとともに、緊急時の円滑な情報発信のため、「ほっとメール」等への自動配信機能を追加し、システムの機能強化を図ります。	災害時における市民への情報発信手段である「デジタル同報系防災行政無線システム」を更新し、災害発生時には、迅速かつ適切な対応が行えるよう安定稼働を図ります。	年度内の更新を終えて、令和8年度より新たな機器により運用を開始します。また、「広報ところざわ」や「ホームページ」により周知を行いました。
3	消防車両更新整備事業（消防団車両）	消防団分団に配備され、更新年を迎えている第9分団の消防ポンプ車の更新を行います。	様々な災害に対処できる消防団体制を確立するため、消防団分団に配備されている消防団車両を計画的に更新をします。	メーカー側の開発が遅れ、令和7年度の納車ができないことから、次年度への繰越し手続きを行いました。令和8年度の早い段階での納車へ向けて調整を進めていきます。